

館山自動車道
大鳥居高架橋耐震補強工事

設 計 図

【町田第三橋】

令和8年9月

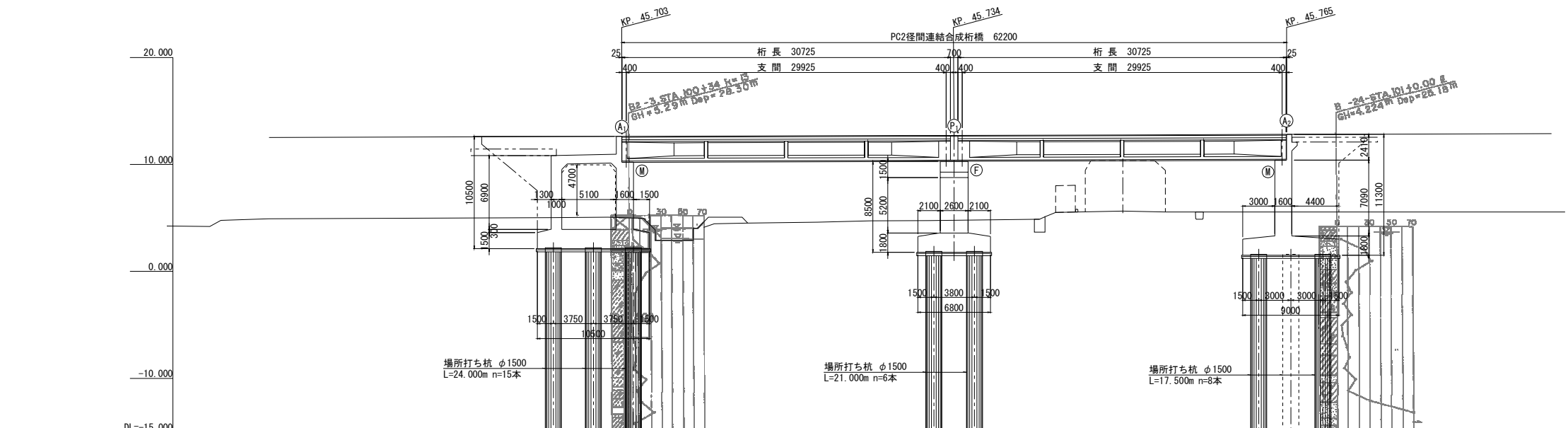
東日本高速道路株式会社
関東支社市原管理事務所

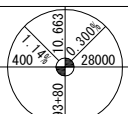
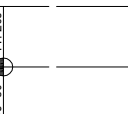
図 面 目 次

図 面 名	図 番
1 . 町田第三橋 (上り線) 橋梁一般図(その1～2)	 1 ~ 2
2 . 町田第三橋 (上り線) 耐震補強一般図	 3
3 . 町田第三橋 (上り線) P1橋脚 構造物掘削図 普通部B	 4
4 . 町田第三橋 (上り線) P1橋脚 RC巻立て補強一般図	 5
5 . 町田第三橋 (上り線) P1橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～2)	 6 ~ 7
6 . 町田第三橋 (上り線) A1橋台 縁端拡幅工B 詳細図(その1～2)	 8 ~ 9
7 . 町田第三橋 (上り線) A2橋台 縁端拡幅工B 詳細図(その1～2)	 10 ~ 11
8 . 町田第三橋 (上り線) 構造物取壊し工 サイドストッパー詳細図	 12
9 . 町田第三橋 (上り線) 施工要領図(参考図)	 13
10 . 町田第三橋 (上り線) 足場工図(参考図)	 14

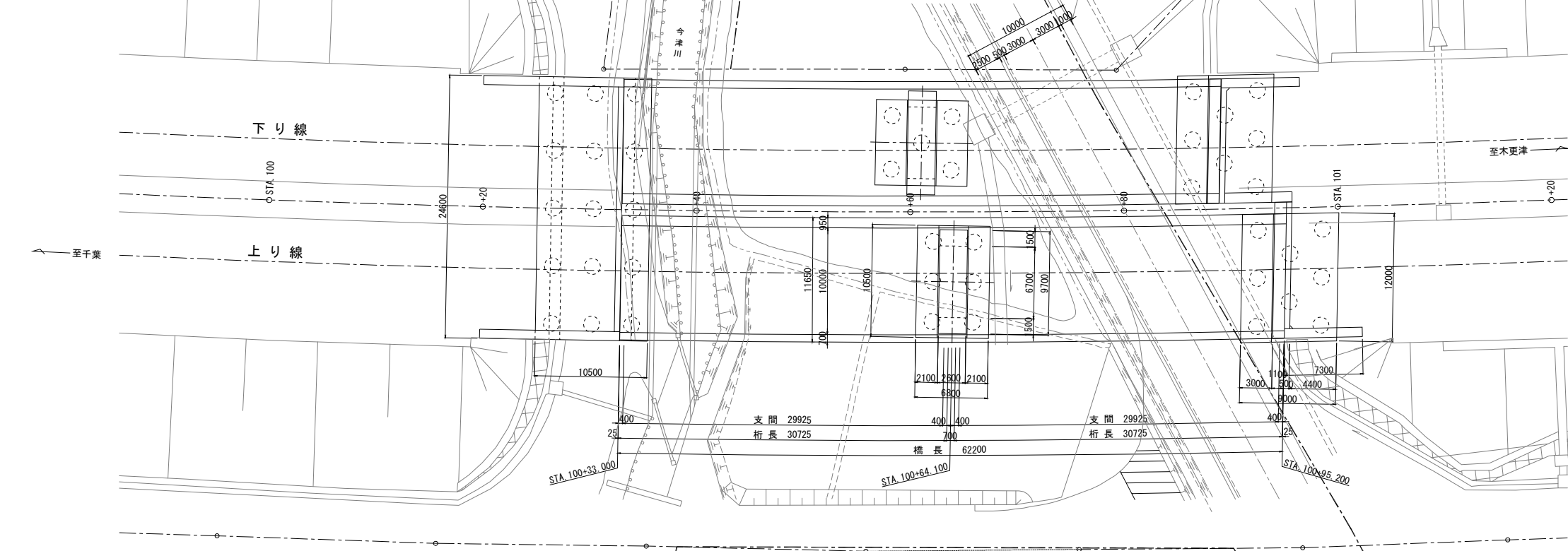
町田第三橋（上り線）橋梁一般図(その1)

側面図 S=1:500



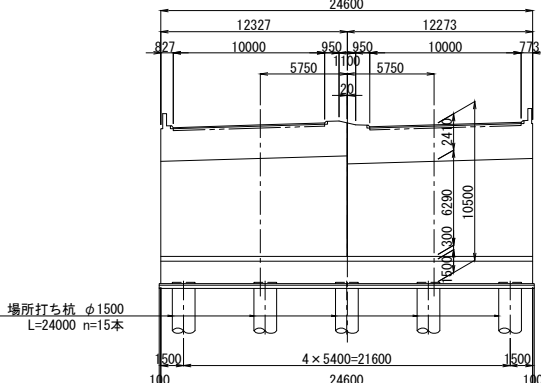
					
計	画	高			
地	盤	高			
追	加	距	離		
単	距	離			
測	点				
平	面	曲	線		
片	こ	う	配	す	り
付	図				

平面図 S=1:500

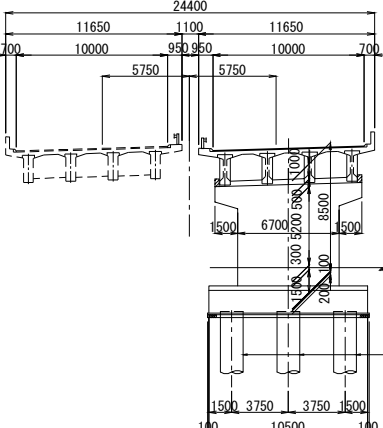


断面図 S=1:500

A1 橋台



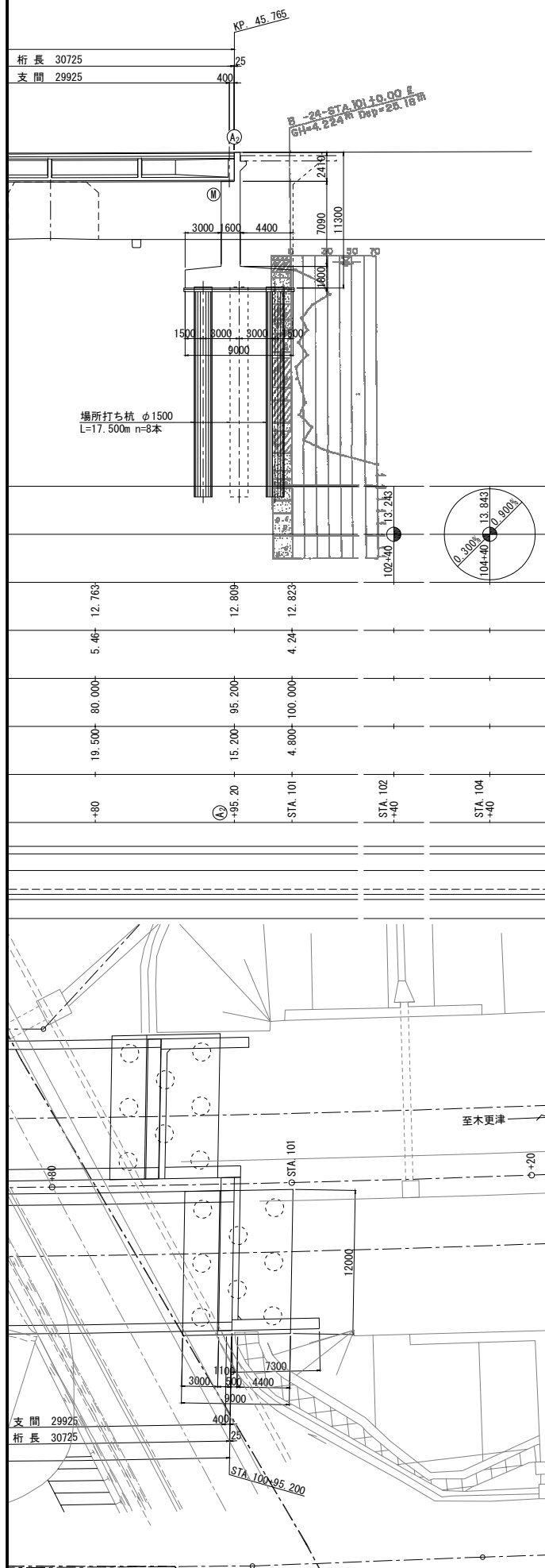
P1 橋脚



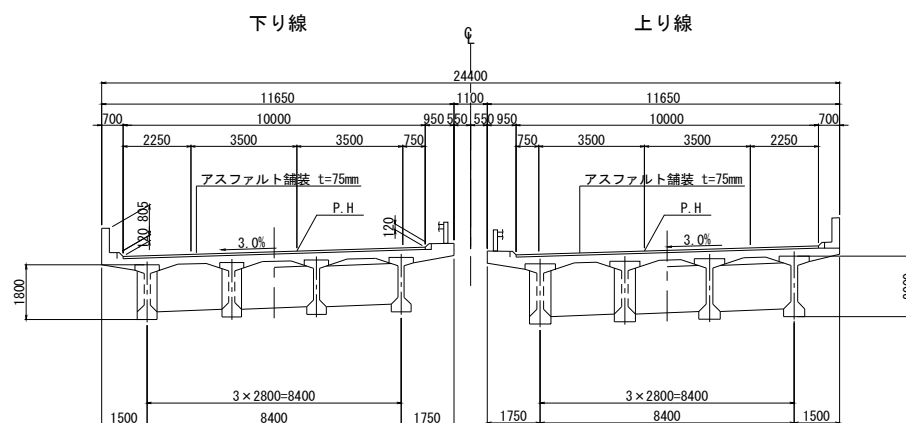
注記
1. 本図面は、完成図から作成したものであり、平面位置関係等においては、現地測量を要する。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線） 橋梁一般図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

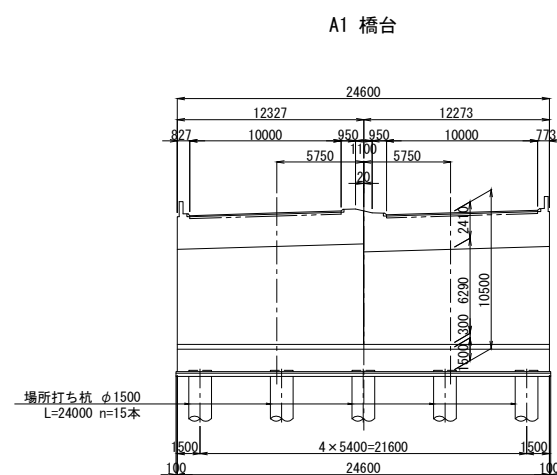
町田第三橋（上り線）橋梁一般図(その2)



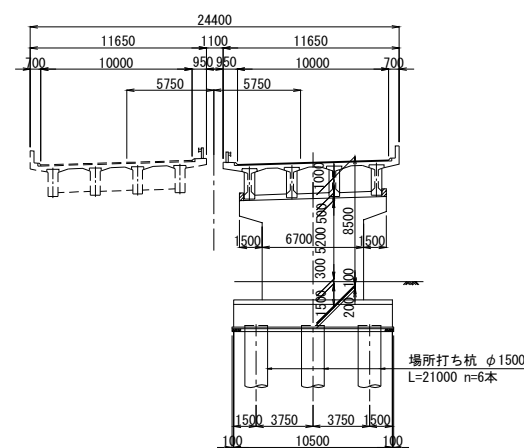
標準横断図 S=1:250



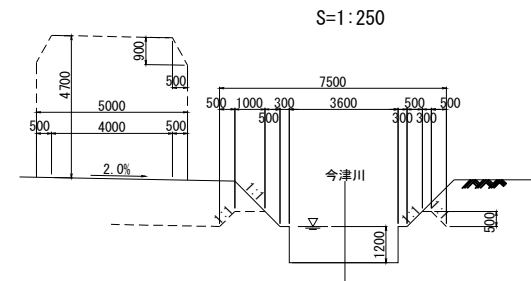
断面图 S=1:500



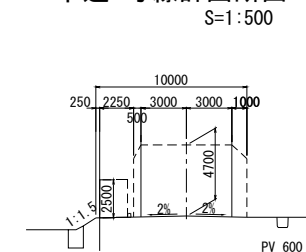
P1 橋脚



今津川計画河川断面



市道6号線計画断面

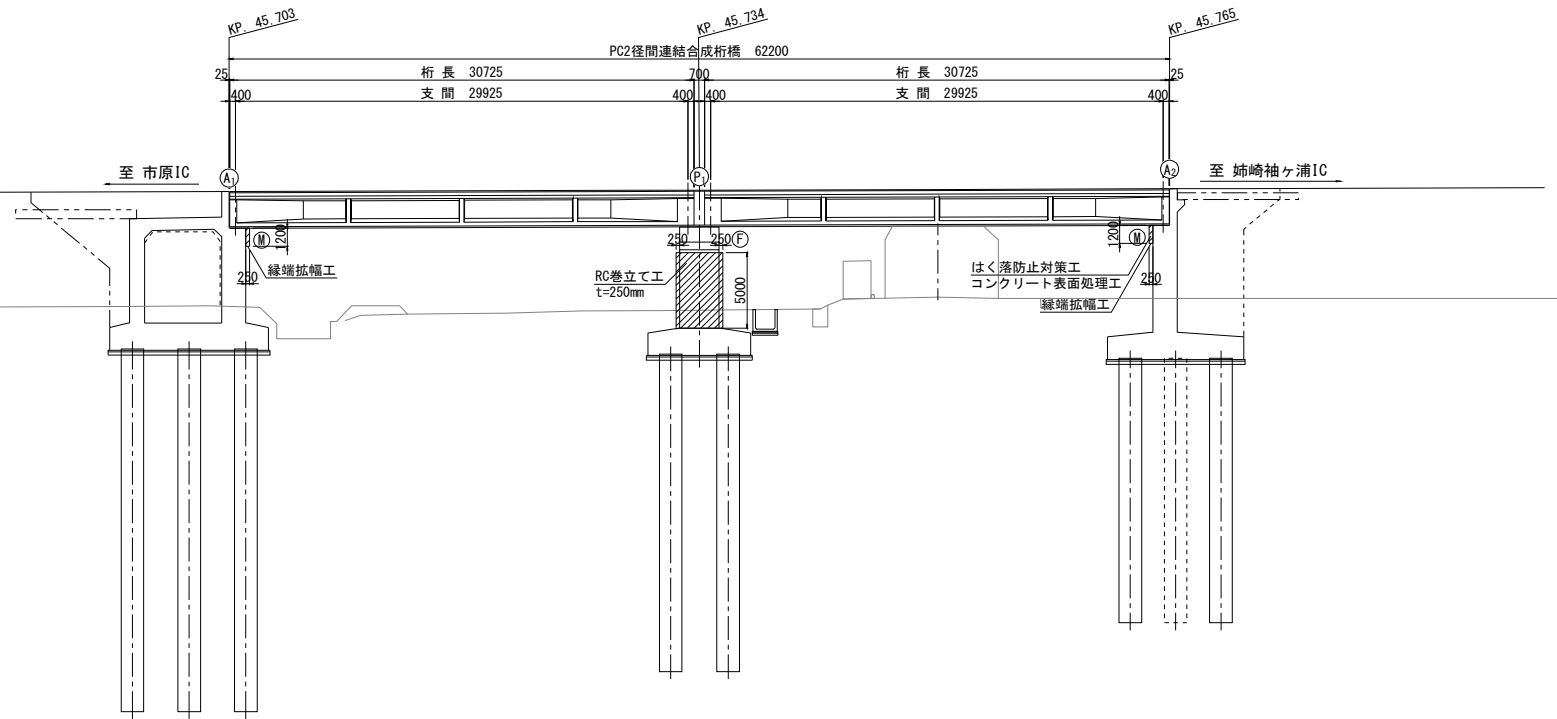


		設 計 条 件	
	橋 長	62.200	桁 長 30.725
	道 路 区 分	1種 2級 A規格	
	荷 重	TT-43, TL-20	
	型 式	PC2径間連結合成桁	
	支 間	29.925 + 29.925	
	有効幅員	10.000	
	斜 角	90° ~ 00	
	横断勾配	3.0%	
	縦断勾配	0.300%	
	地 震 係 数	水平震度 $K_H=0.22$ 鉛直震度 $K_V=\pm 0$	
上 部 工	コンクリート	主桁 $\sigma_{ck}=400\text{kg/cm}^2$ 、橋所打ち $\sigma_{ck}=350\text{kg/cm}^2$	
	鉄 筋	床版 $\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$	
	使用材質	SD35	
下 部 工	コンクリート	12T12.4 (SWPR7A) 12φ5 (SWPR1)	
	鉄 筋	$\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$	
	支持力	$\sigma_{sa}=1800\text{kg/cm}^2$ SD35	
	適用示方書	道路橋示方書 同解説 設計要領第2集	

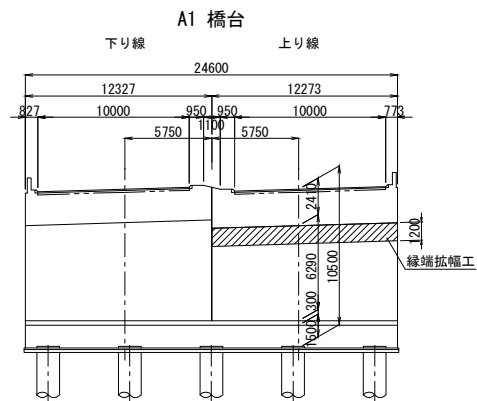
注記
1. 本図面は、完成図から作成したものであり、平面位置関係等においては、現地測量を要する。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事				
町田第三橋（上り線）				
図面の種類 橋梁一般図（その2）				
縮	尺	図 示	図面番号	/
設計会社名		大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

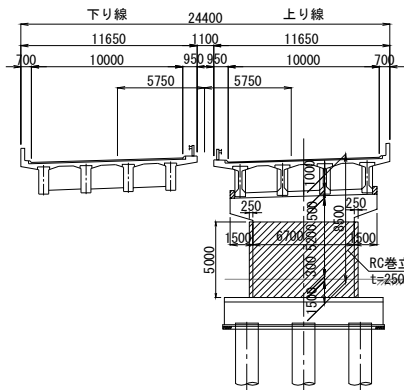
側面図 S=1:500



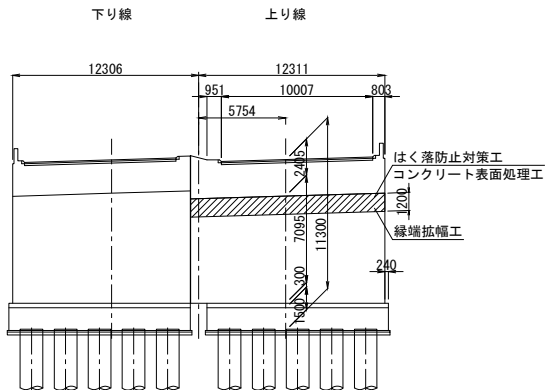
断面図 S=1:500



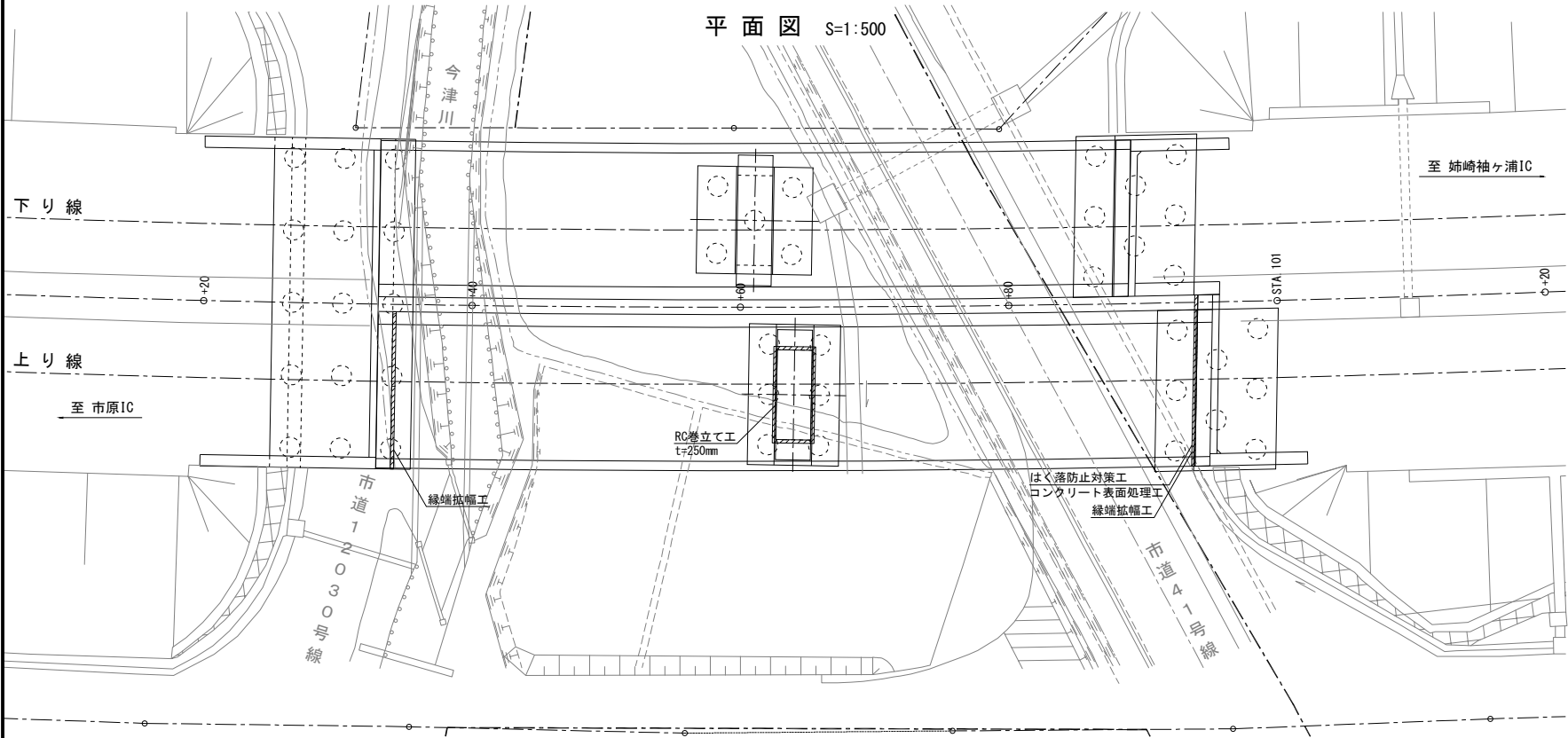
P1 橋脚



A2 橋台



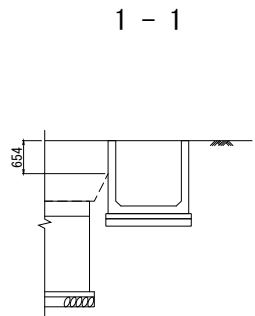
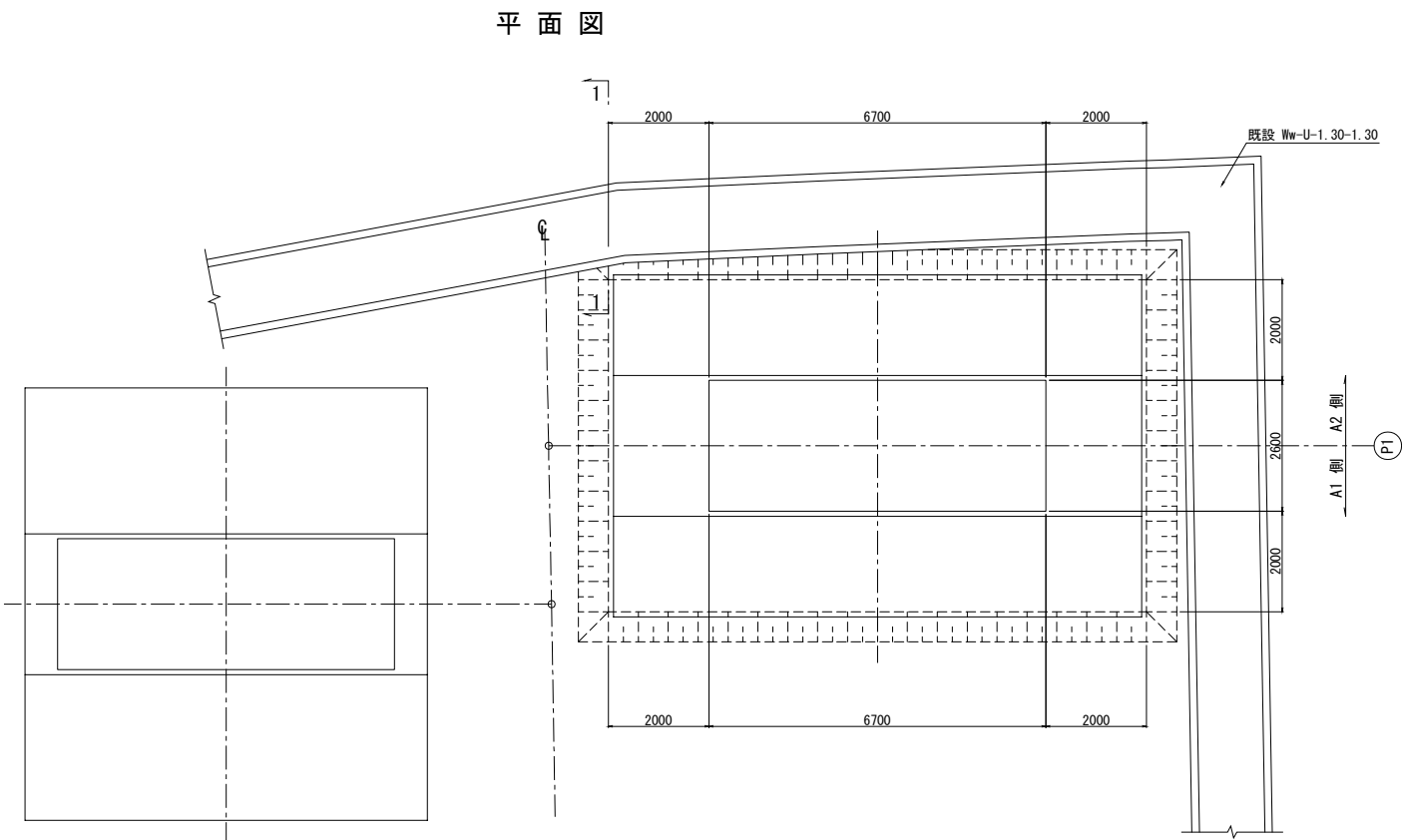
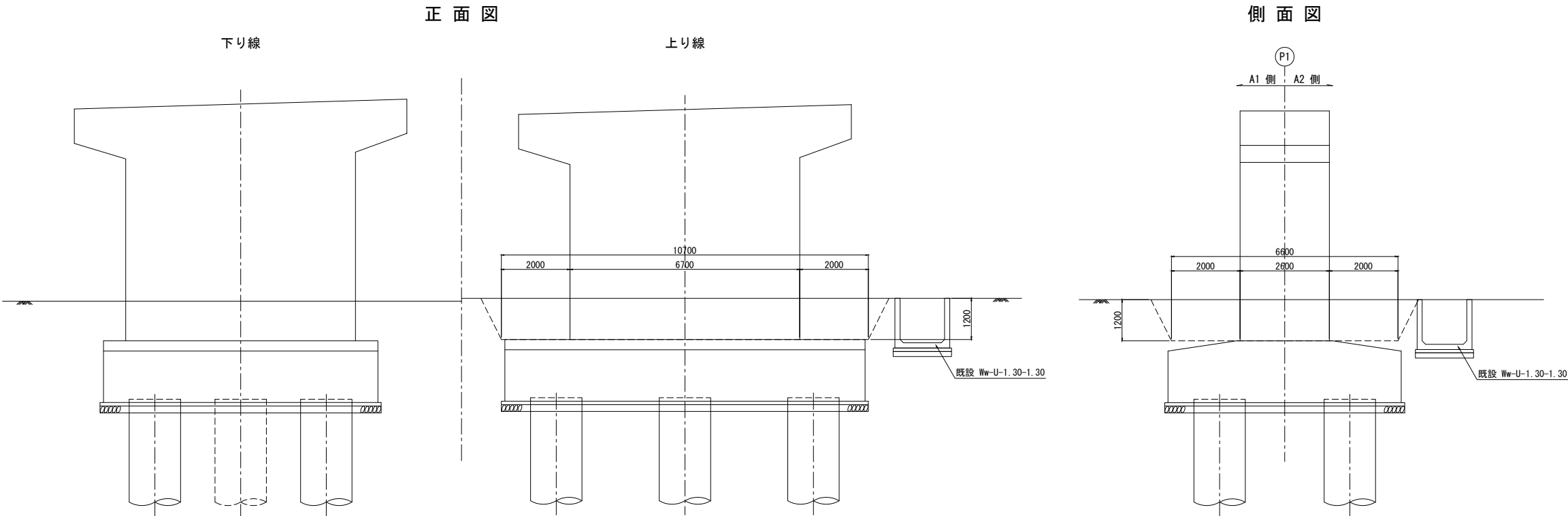
平面図 S=1:500



建設時設計条件			
橋長	62.720	桁長	30.725
道路区分	1種 2級 A規格		
荷重	TT-43 TL-20		
型式	PC2径間連結合成桁		
支間	29.725	+	29.725
有効幅員	10.000		
斜角	90° ~ 00		
横断勾配	3.0%		
縦断勾配	0.300%		
地震係数	水平震度 KH=0.22 鉛直震度 Kv=±0		
上部工	主桁 σ ck=400kg/cm ² 、場所打ち σ ck=350kg/cm ² 床版 σ ck=240kg/cm ²		
鉄筋	SD35		
使用材質	12T12.4 (SWPR7A) 12φ5 (SWPR1)		
下部工	コンクリート σ ck=240kg/cm ²		
鉄筋	σ sa=1800kg/cm ² SD35		
支持力	qd=300 t/m ² (砂レキ層)		
適用示方書	道路標示方書 同解説 設計要領第2集 (上部工) 道路標示方書 同解説 設計要領第2集 (下部工)		
耐震補強設計条件			
設計基準	R6設計要領 第二集 橋梁保全編 H24道路標示方書・同解説		
使用材料	コンクリート	σ ck=30N/mm ²	
	鉄筋	SD345	
補強内容	橋脚	RC巻立て工 t=250mm	
	橋台	縁端拡幅工:コンクリート製	

注記)
1. 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映すること。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線） 耐震補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		



数量表

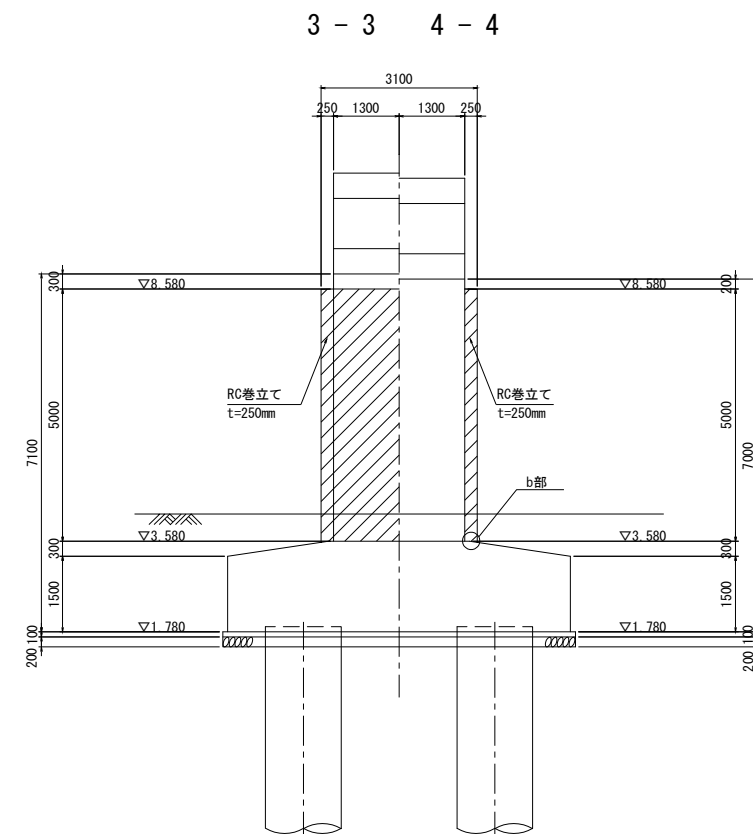
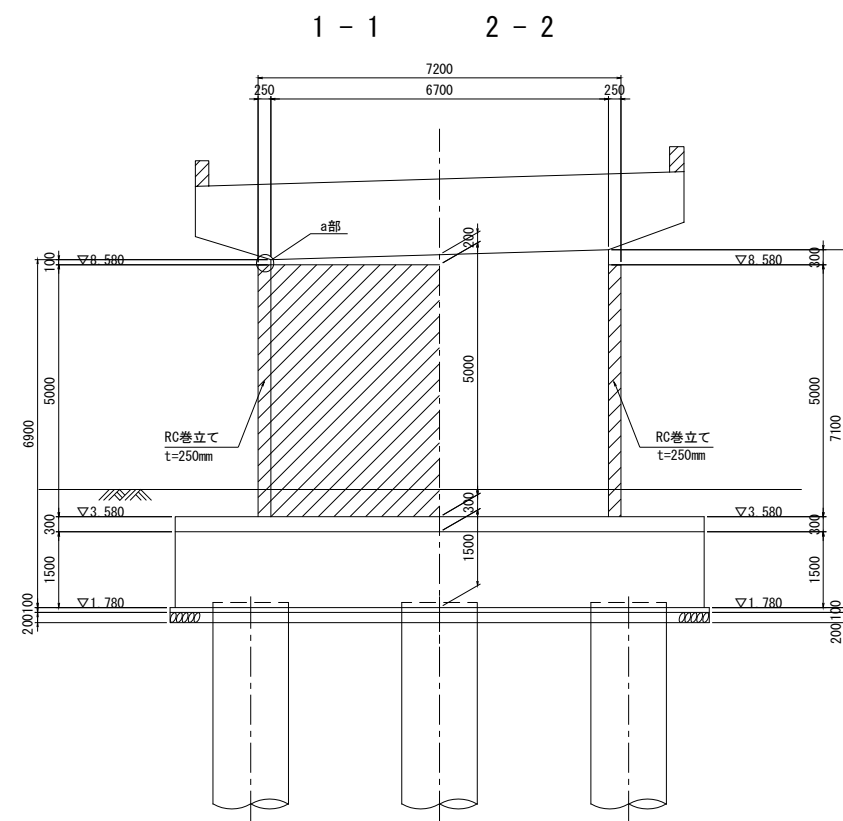
項目		単位	数量	備考
構造物掘削	陸上部	m3	33.5	
	水中部	m3	—	
埋戻し		m3	30.9	

注記)

1. 本図面は、完成図・管理用平面図から作成したものであり、平面位置関係等においては、現地測量を要する。

2. 構造物掘削は既設構造物がある箇所は掘削ラインとの交点までとする。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）P1橋脚 構造物掘削図 普通部B		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



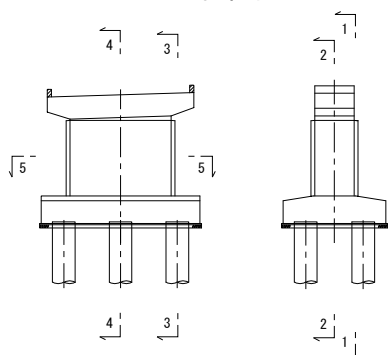
既設使用材料

柱	鉄筋	SD30
	コンクリート	$\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$

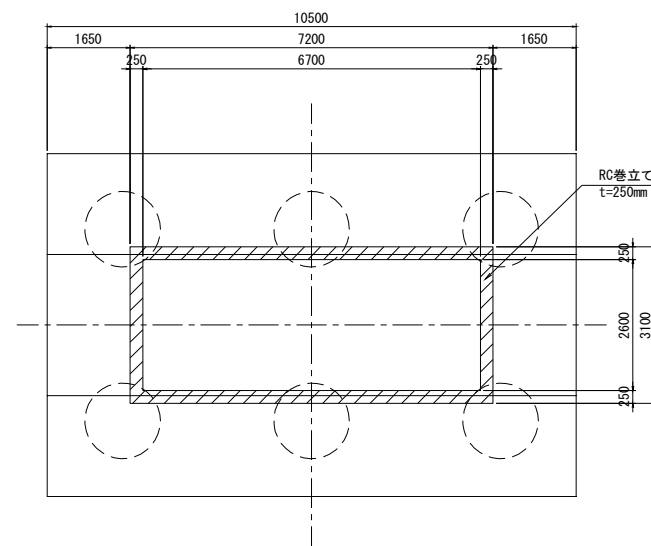
補強使用材料

柱	鉄筋	SD345
	コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$

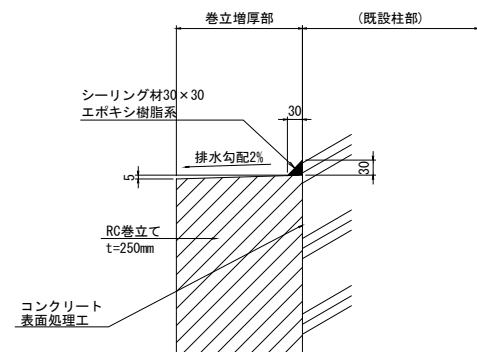
位置図



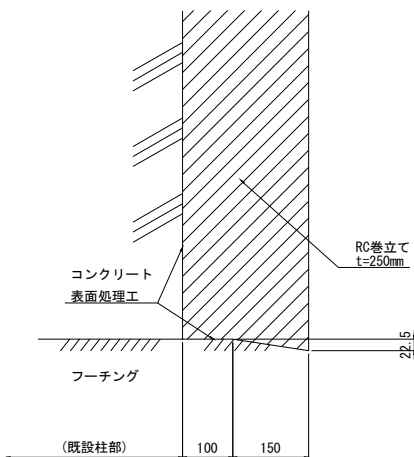
5 - 5



a部詳細図 S=1:15



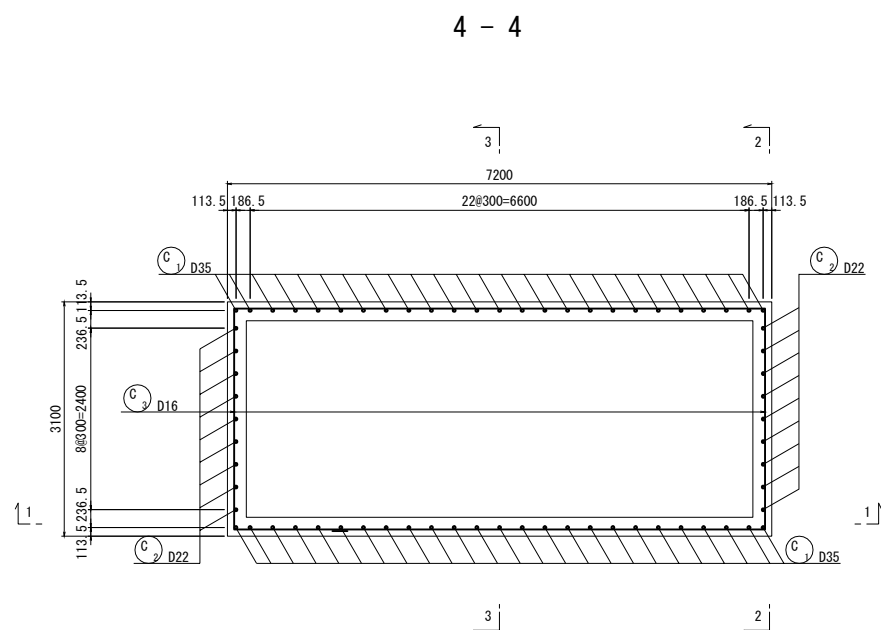
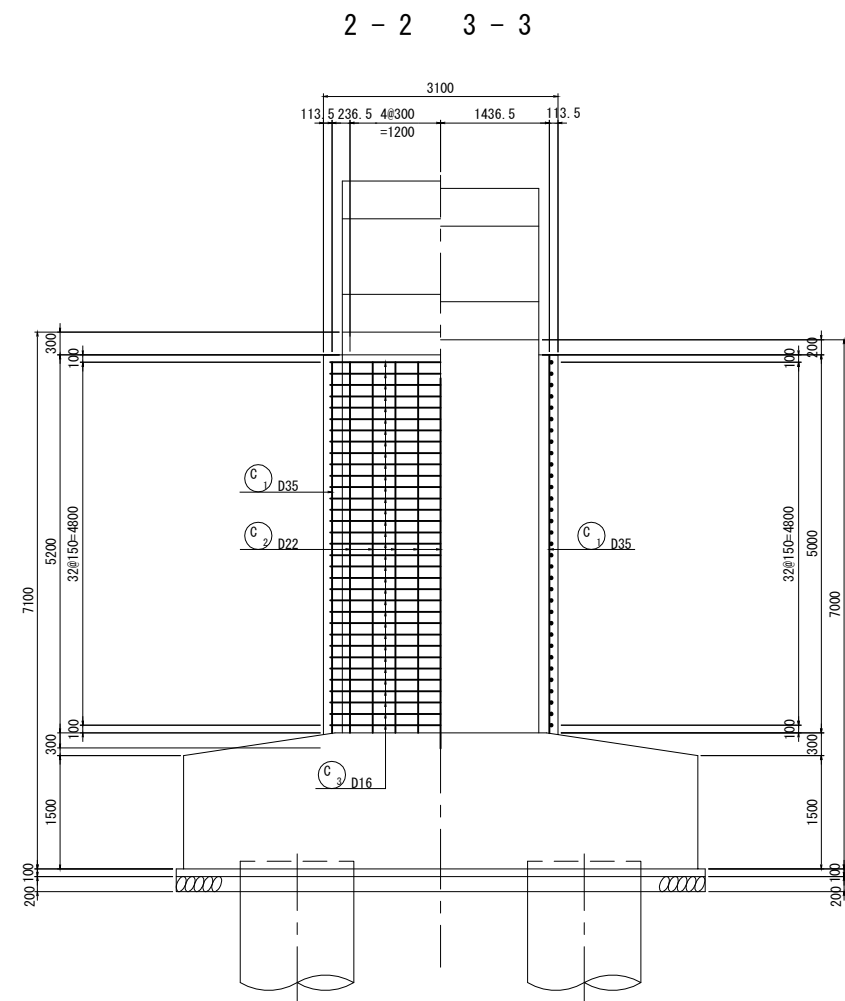
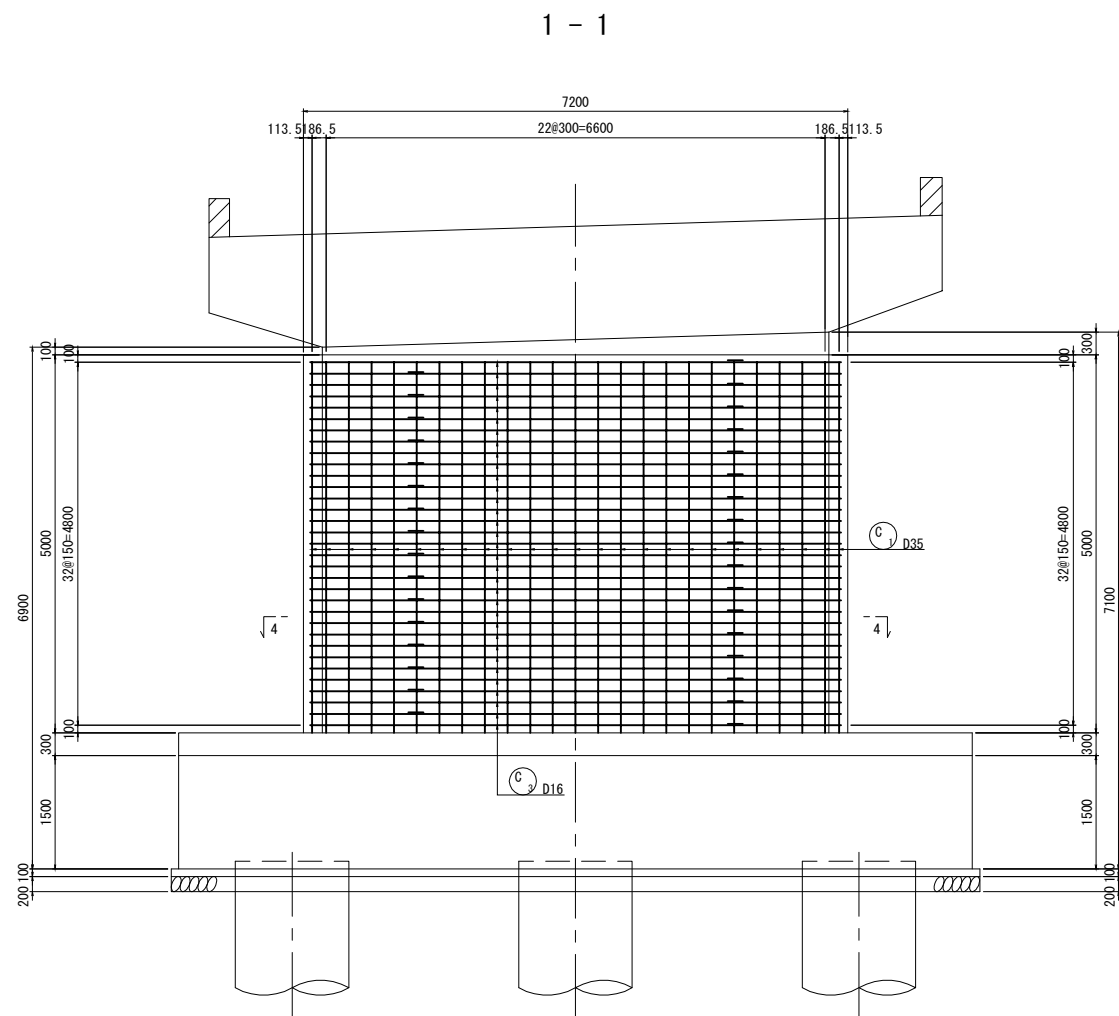
b部詳細図 S=1:15



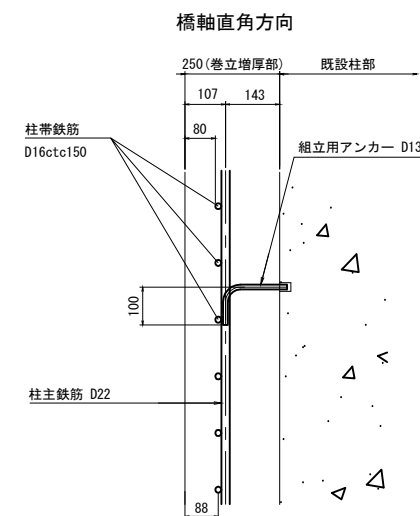
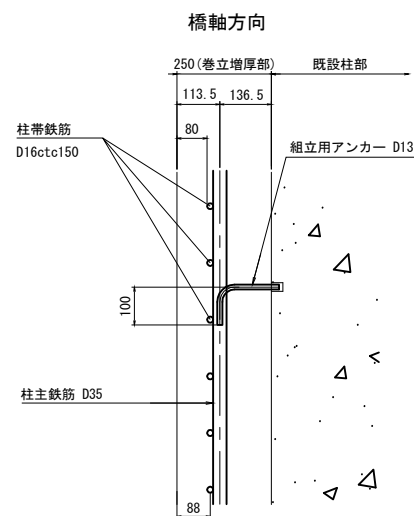
注記

1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）P1橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

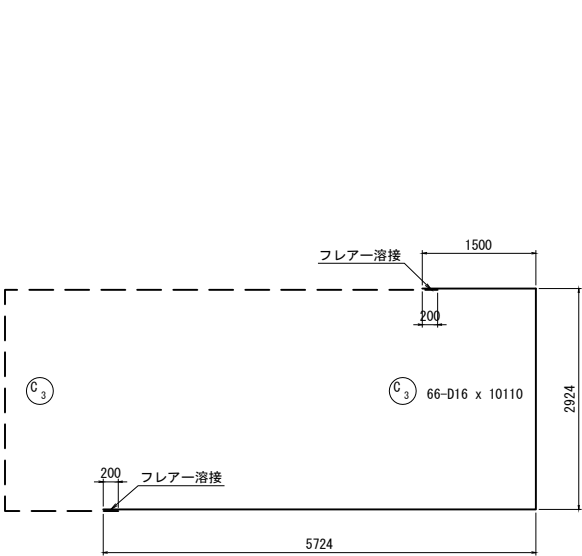
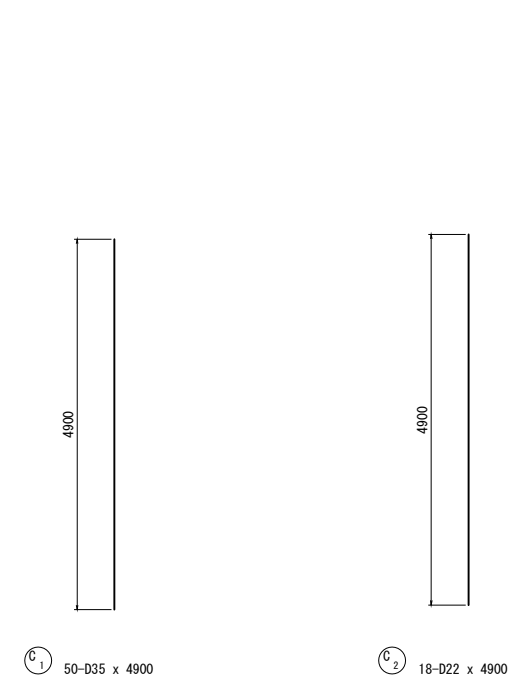


かぶり詳細図 S=1:20



- 注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
 2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
 3. 帯鉄筋はフレアー溶接とし、継手位置は千鳥配置とすること。
 4. 組立て用アンカーは1本/m²に配置すること。
 5. 鉄筋曲げ加工は鉄筋中心で示している。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）P1橋脚 RC巻立て補強配筋図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



鉄筋加工寸法表

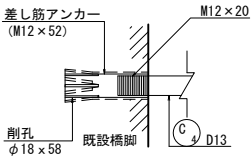
径	$\theta \leq 90^\circ$ $R=3.0\phi$		$\theta > 90^\circ$ $R=5.5\phi$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
					a	減長	a	減長
D13	39	71.5	61	17	56	3		
D16	48	88	75	21	69	4		
D19	57	104.5	89	25	82	5		
D22	66	121	104	28	95	5		
D25	75	137.5	118	32	108	6		
D29	87	159.5	137	37	125	7		
D32	96	176	151	41	138	8		
D35	105	192.5	165	45	151	8		
D38	114	209	179	49	164	9		
D41	123	225.5	193	53	177	10		
D51	153	280.5	240	66	220	12		

鉄筋質量表

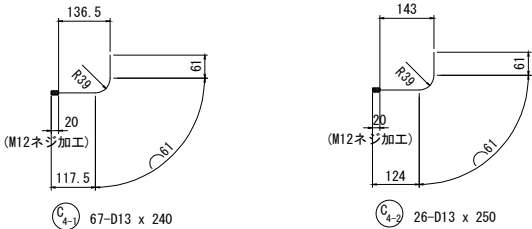
(橋脚 1 基当り)							
記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
C 1	D35	4900	50	7.51	36.8	1840	
C 2	D22	4900	18	3.04	14.9	268	
C 3	D16	10110	66	1.56	15.8	1043	□ (66)
3151 kg							
鉄筋質量合計							
T鉄筋							
D16 (SD345) 1043						kg	
D22 (SD345) 268						kg	
D35 (SD345) 1840						kg	
合 計 3151						kg	
フレアー溶接箇所数							
D16 (SD345) 66 箇所							

注) : () はフレアー溶接箇所数を示す。
鉄筋長は、四捨五入の10mm丸めとする。

組立て筋アンカー詳細図(参考図) S=1:4

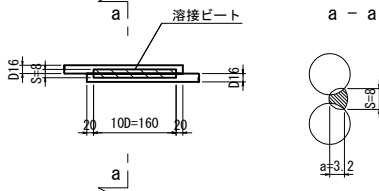


組立筋加工図(参考図) S=1:20



※1本/約1m2程度、設置する。

フレアー溶接詳細図
D16用



S : 溶接ビード幅
a : $a=0.39 \cdot D-3$ ($D \leq 22$)
 $a=0.39 \cdot D-4$ ($22 < D$)
D : 鉄筋径(呼び径)

組立てアンカー参考数量

(橋脚 1 基当り)							
記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
C 4-1	D13	240	67	0.995	0.239	16	□
C 4-2	D13	250	26	0.995	0.249	6	□
合計 22 kg							
D13 (SD345) 22 kg							
コンクリートアンカー M12 93 本							

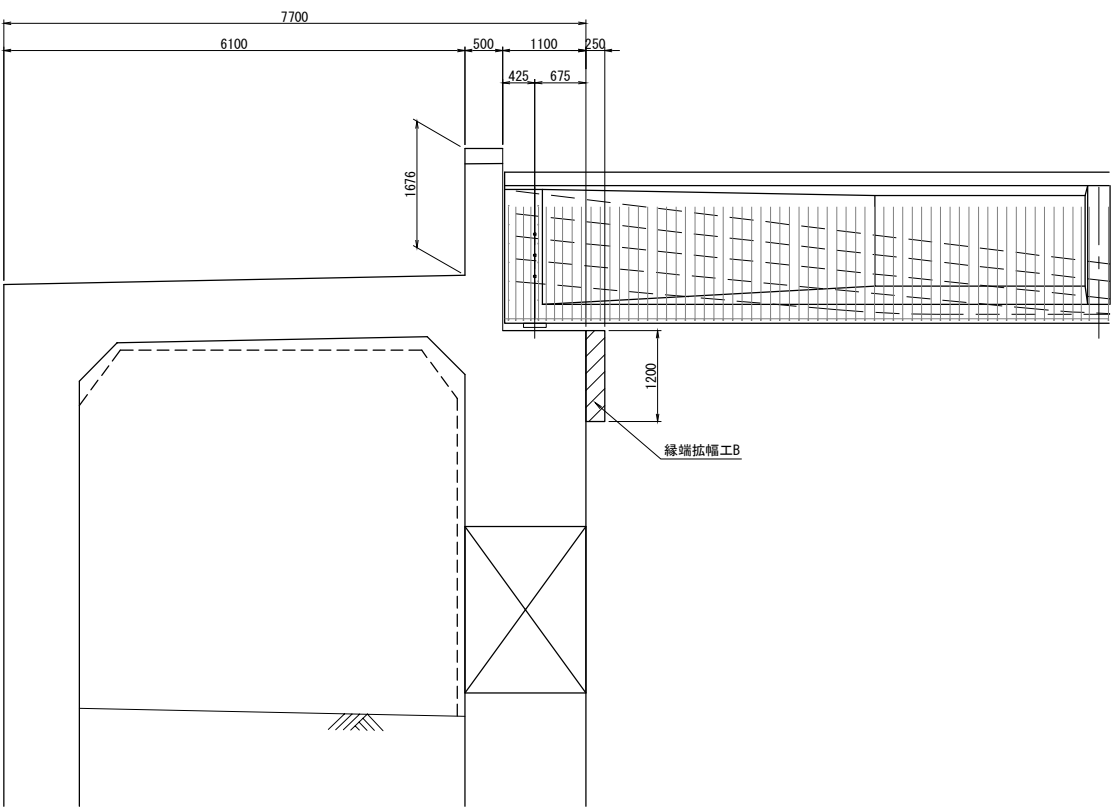
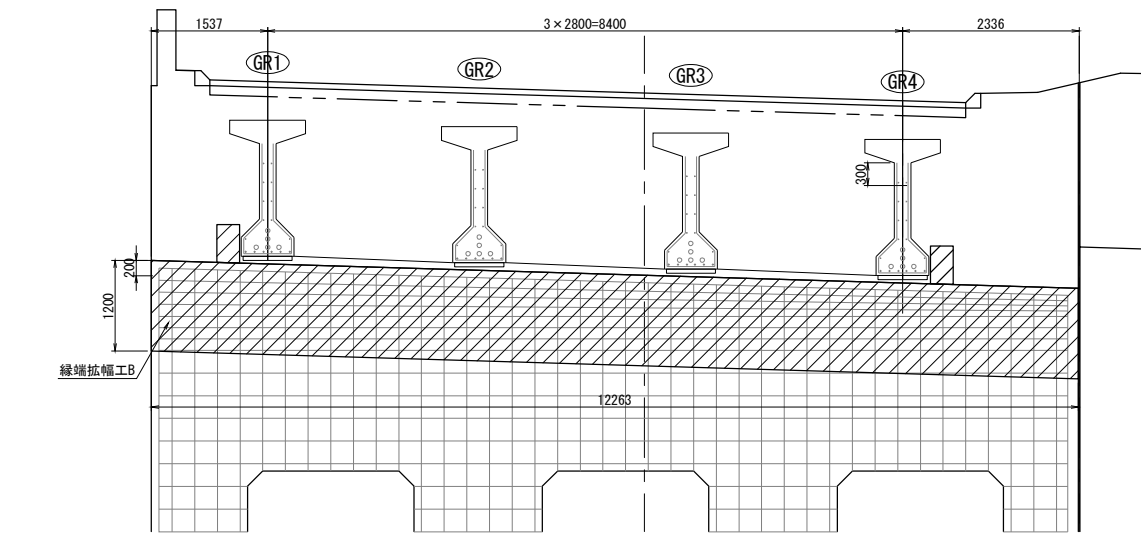
- 注記)
- 施工前に既設形状寸法を確認すること。
 - 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
 - 帯鉄筋はフレアー溶接とし、継手位置は千鳥配置とすること。
 - 組立て用アンカーは1本/m2に配置すること。
 - 鉄筋曲げ加工は鉄筋中心で示している。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）P1橋脚 RC巻立て補強配筋図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

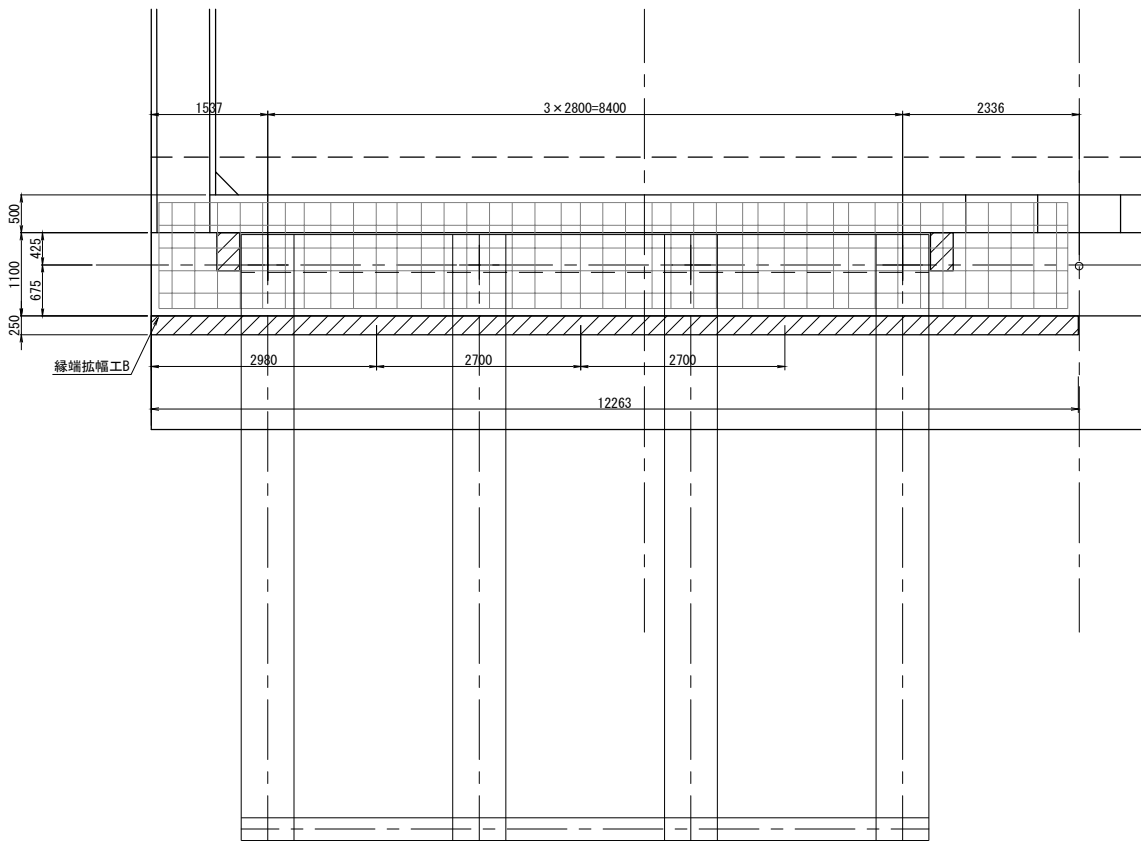
配置図

正面図

側面図



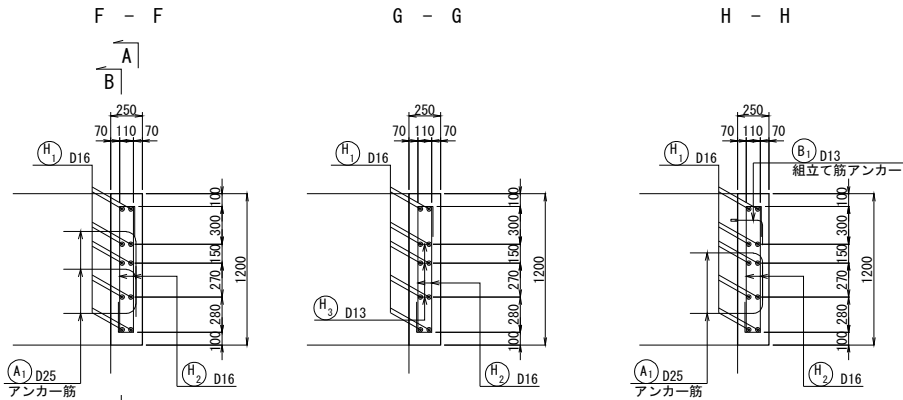
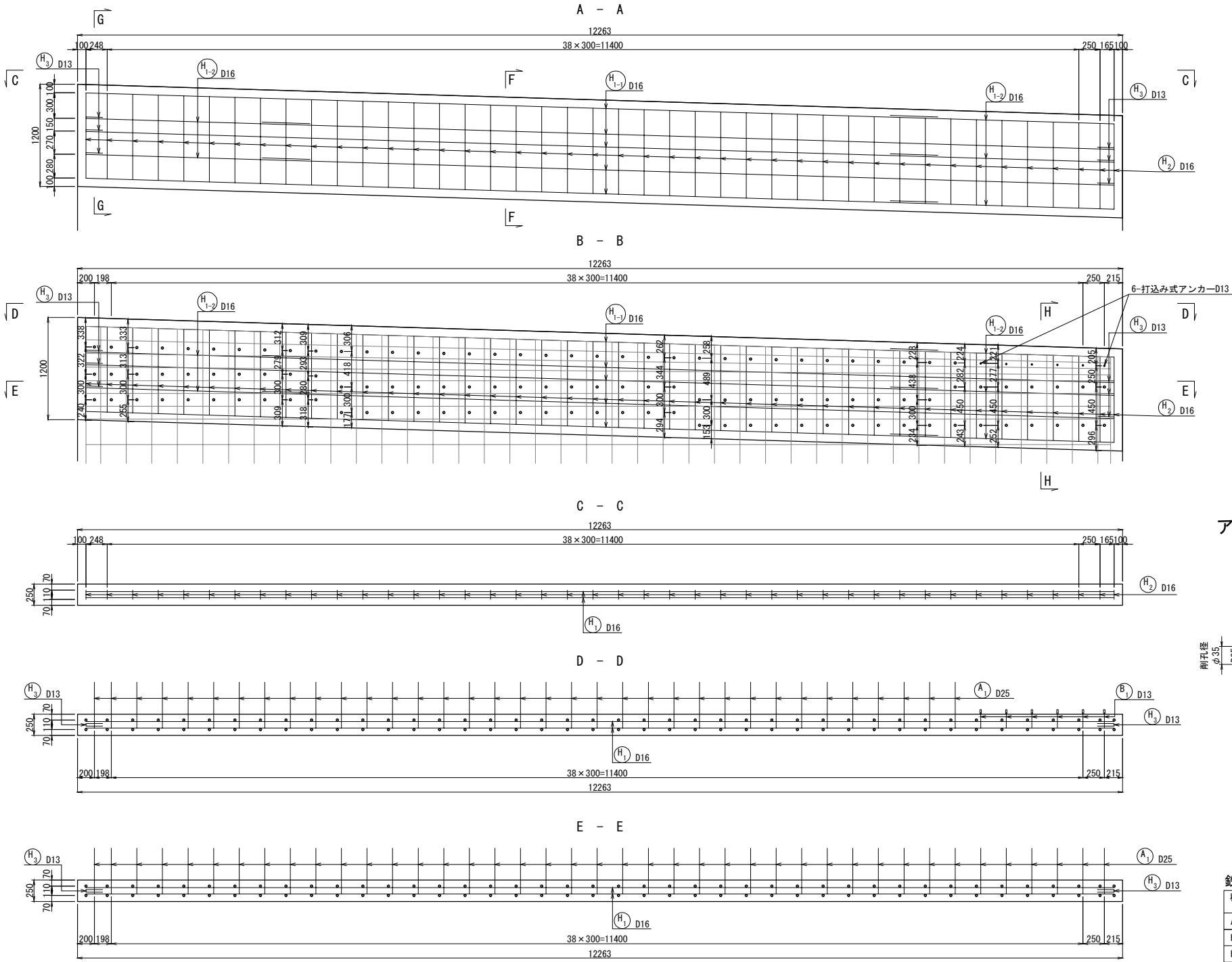
平面図



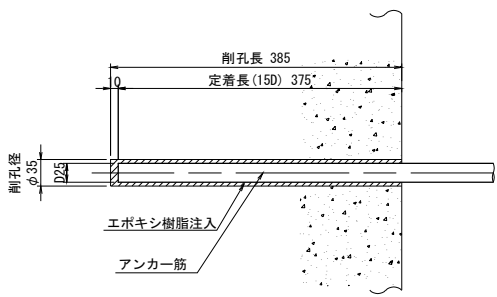
- 注記)
1. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とし、鉄筋はSD345を使用する。
 2. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて完成図を基に作図を行なっている。
 3. 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 4. 既設コンクリート表面は、コンクリートの付着性をよくするため、WJによる表面処理を行うこと。
 5. アンカー削孔前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋を避けて施工のこと。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）A1橋台 縁端拡幅工B 詳細図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

配筋図



アンカーボルト定着部詳細図 S=1:10



鉄筋加工寸法表						
φ	θ=90°			θ=135°		
	R	a	Δ l	R	a	Δ l
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88	69	4
D19	57	89	25	104.5	82	5
D22	66	104	28	121	95	5
D25	75	118	32	137.5	108	6
D29	87	137	37	159.5	125	7
D32	96	151	41	176	138	8
D35	105	165	45	192.5	151	8
D38	114	179	49	209	164	9
D41	123	193	53	225.5	177	10
D51	153	240	66	280.5	220	12

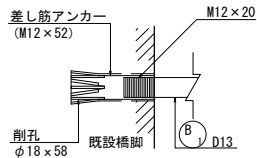
鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
A ₁	D25	900	117	3.98	3.58	419	└
H ₁₋₁	D16	10000	10	1.56	15.6	156	—
H ₁₋₂	D16	2630	10	1.56	4.1	41	—
H ₂	D16	1600	84	1.56	2.5	210	└
H ₃	D13	440	6	0.995	0.44	3	└
小計						829 kg	
鉄筋質量合計							
					D25 (SD345)	419 kg	
					D16 (SD345)	407 kg	
					D13 (SD345)	3 kg	
					合計	829 kg	

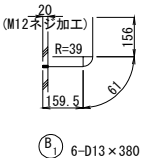
組立てアンカー参考数量

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
B ₁	D13	380	6	0.995	0.38	2	└
合計						2 kg	
					D13 (SD345)	2 kg	
					コンクリートアンカー M12	6 本	

組立て筋アンカー詳細図 (参考図) S=1:4



組立筋加工図 (参考図) S=1:30

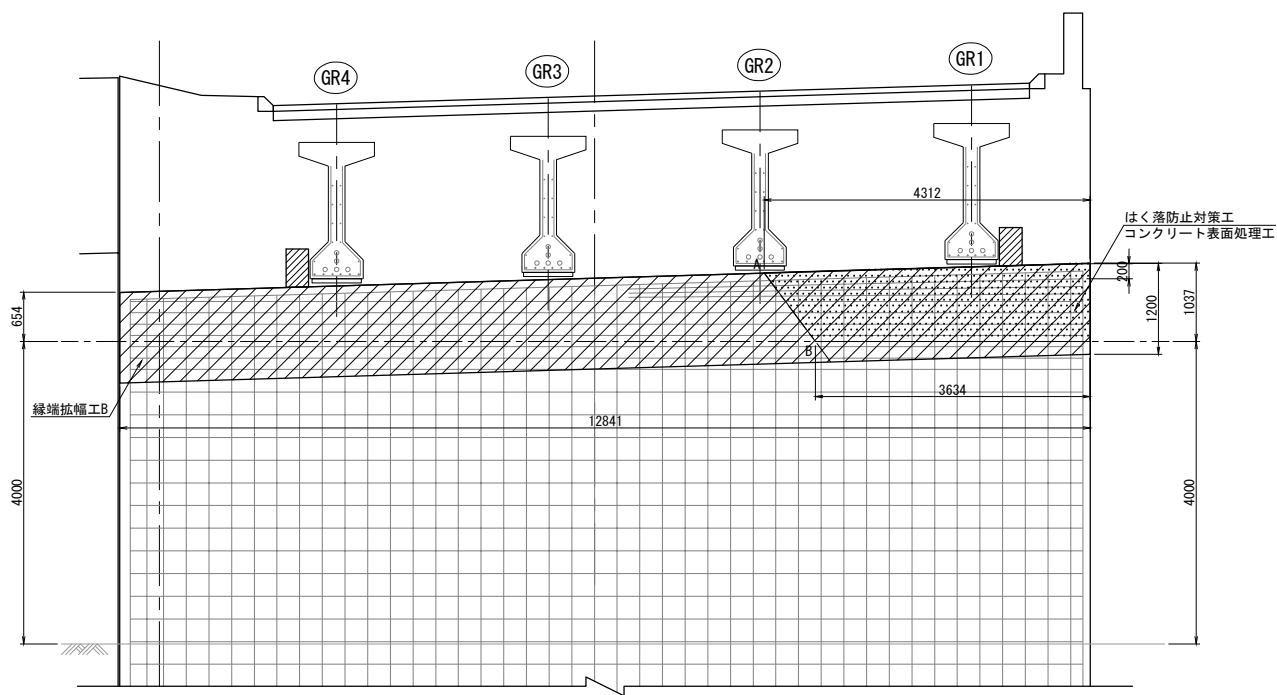


注記)

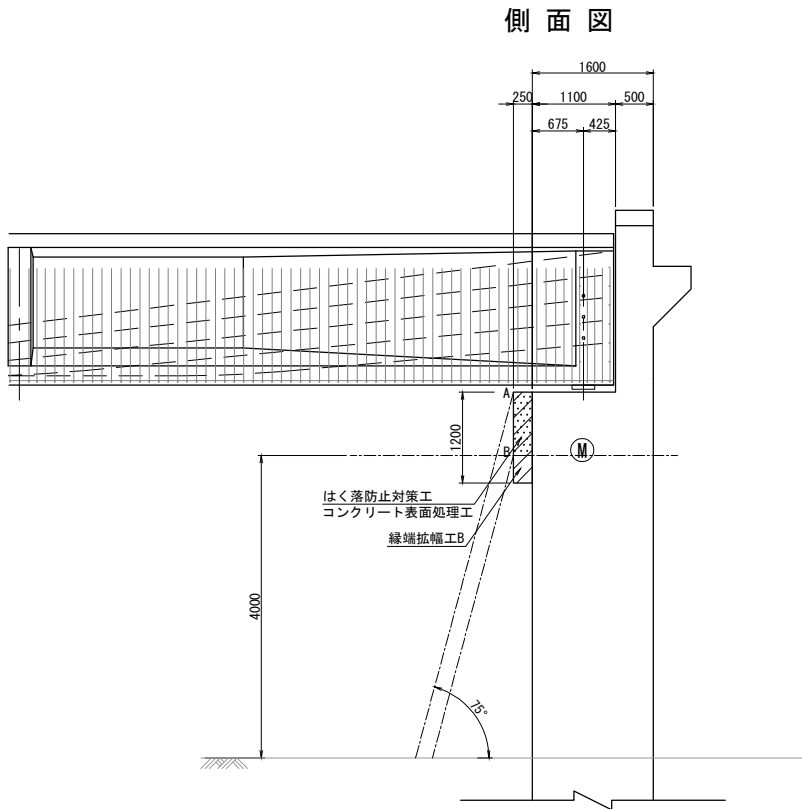
- コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とし、鉄筋はSD345を使用する。
- 本図の既設構造物の基準寸法: 部材寸法などは、すべて完成図を基に作図を行っている。
- 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
- 既設コンクリート表面は、コンクリートの付着性をよくするため、WJによる表面処理を行うこと。
- アンカー削孔前に鉄筋探索を行い、既設鉄筋を避けて施工のこと。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）A1橋台 縁端拡幅工B 詳細図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

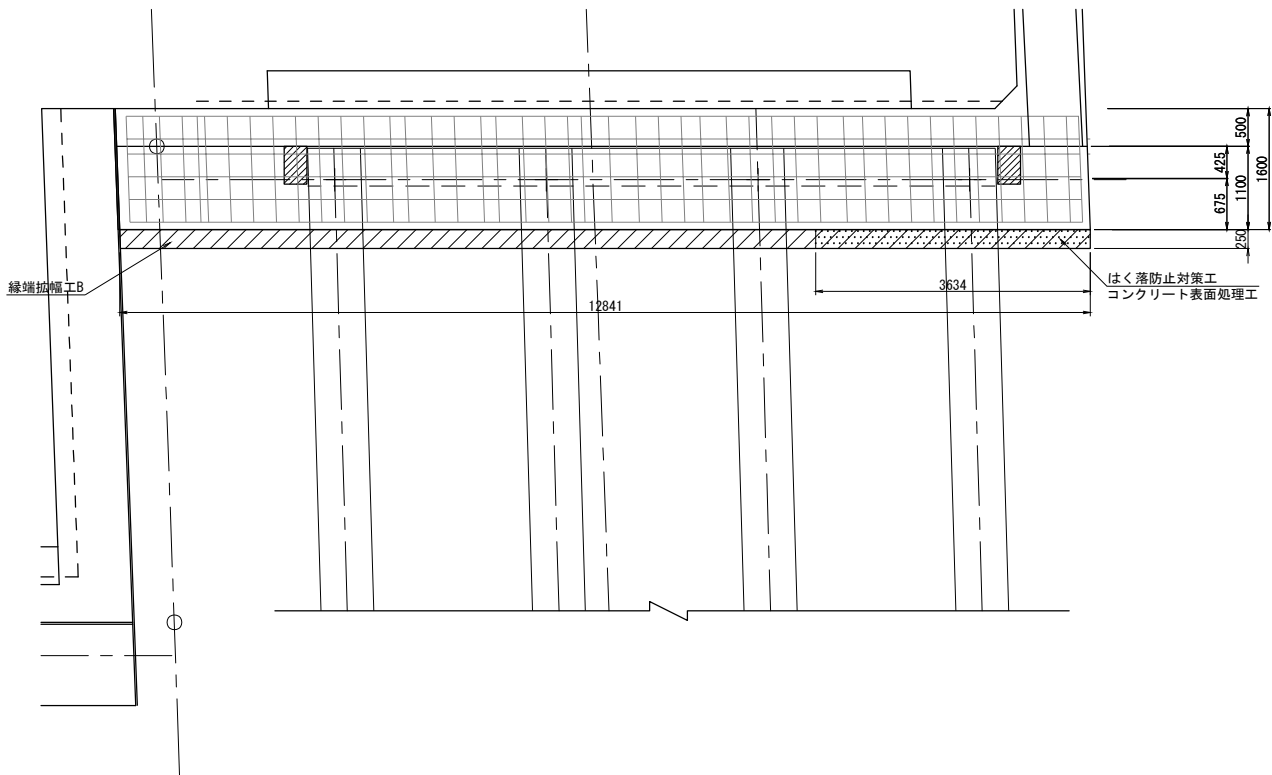
正面図



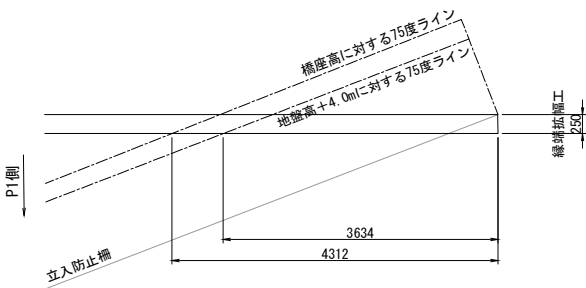
配置図



平面図



相関平面図

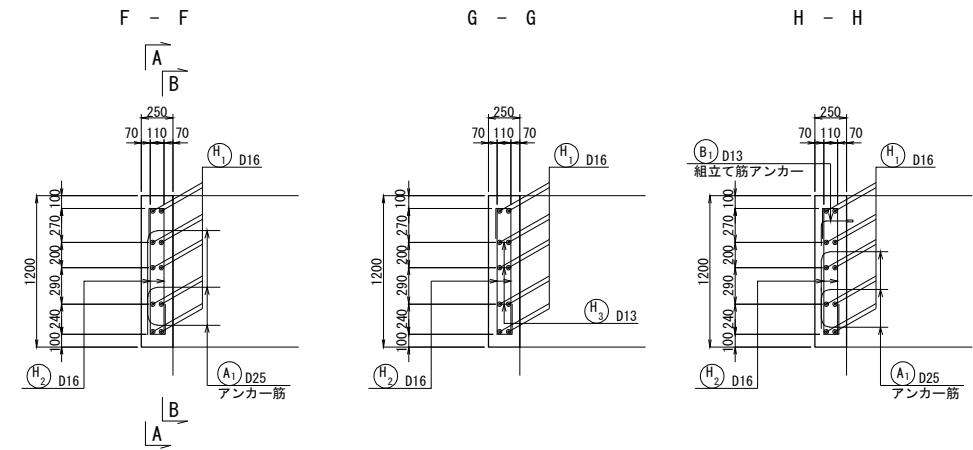
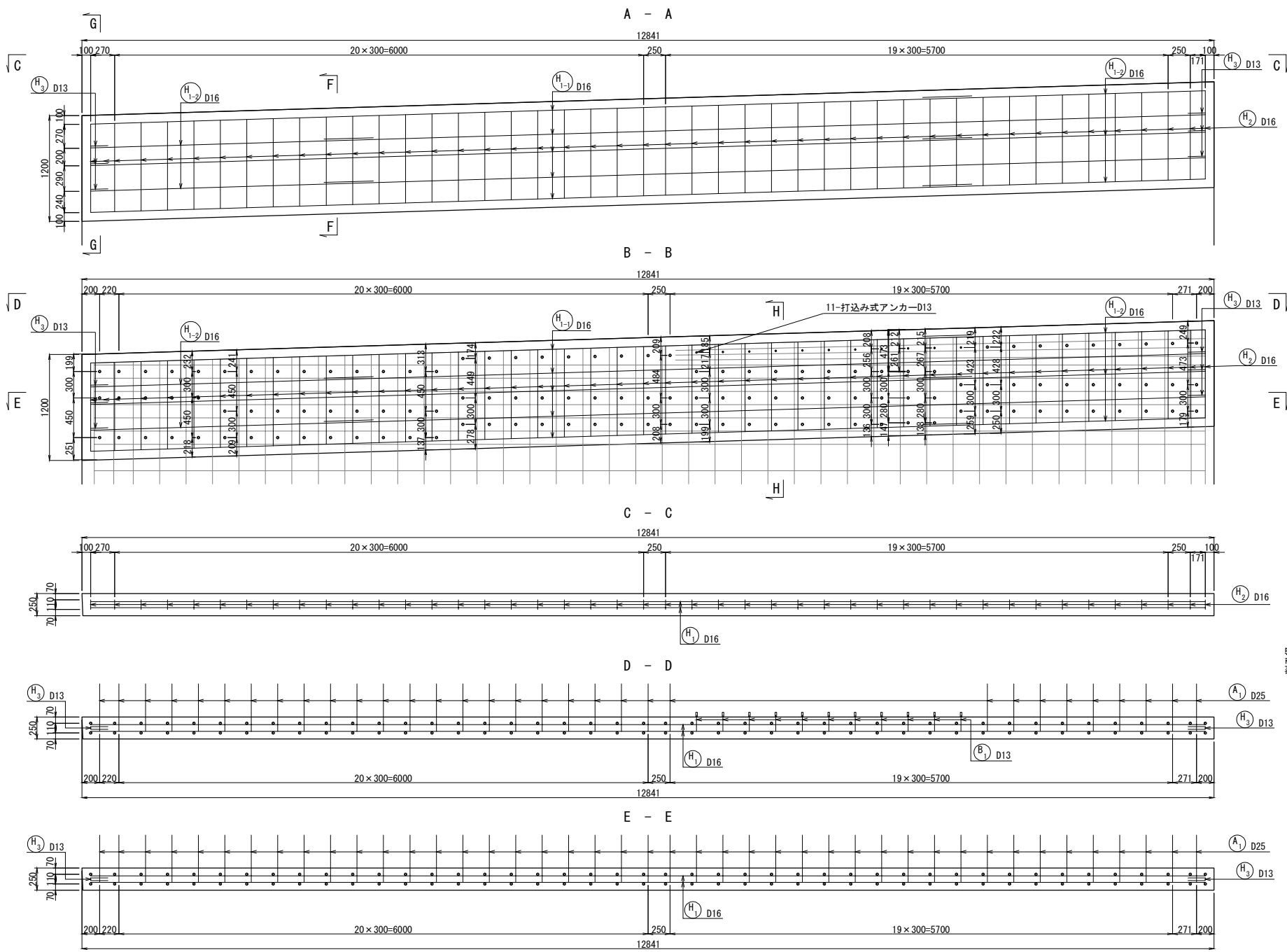


注記)

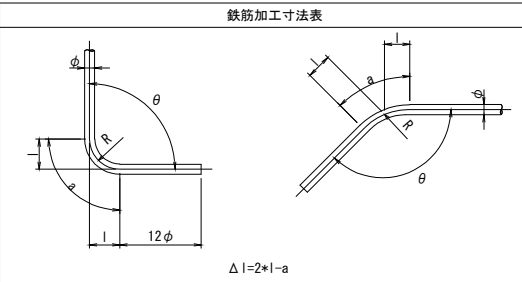
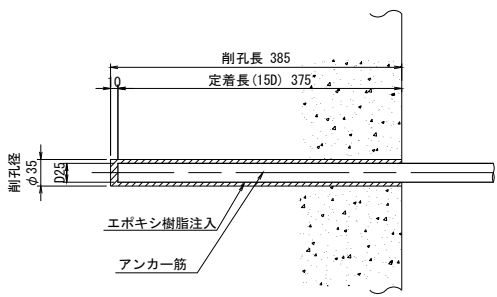
1. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とし、鉄筋はSD345を使用する。
2. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて完成図を基に作図を行なっている。
3. 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
4. 既設コンクリート表面は、コンクリートの付着性をよくするため、WJによる表面処理を行うこと。
5. アンカー削孔前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋を避けて施工のこと。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）A2橋台 縁端拡幅工B 詳細図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

配筋図

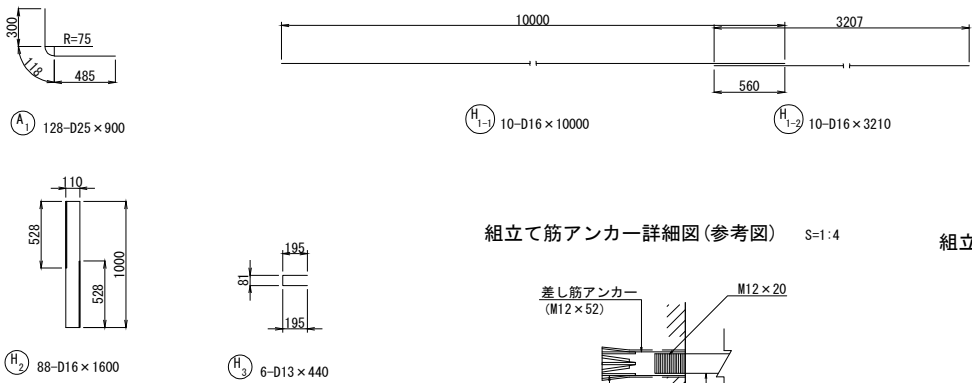


アンカーボルト定着部詳細図 S=1:10

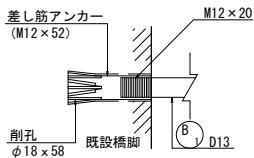


鉄筋質量表							
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
A ₁	D25	900	128	3.98	3.58	458	└
H ₁₋₁	D16	10000	10	1.56	15.6	156	└
H ₁₋₂	D16	3210	10	1.56	5.01	50	└
H ₂	D16	1600	88	1.56	2.5	220	└
H ₃	D13	440	6	0.995	0.44	3	└
					小計	887	kg
鉄筋質量合計							
					D25 (SD345)	458	kg
					D16 (SD345)	426	kg
					D13 (SD345)	3	kg
					合計	887	kg

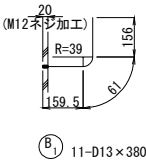
- 注記)
- コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とし、鉄筋はSD345を使用する。
 - 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて完成図を基に作図を行なっている。
 - 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 既設コンクリート表面は、コンクリートの付着性をよくするため、WJによる表面処理を行うこと。
 - アンカー削孔前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋を避けて施工のこと。



組立て筋アンカー詳細図 (参考図) S=1:4



組立筋加工図 (参考図) S=1:30

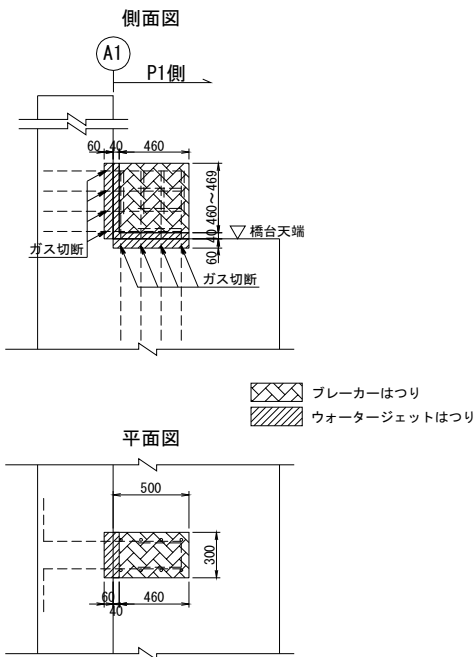


組立てアンカー参考数量

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
B ₁	D13	380	11	0.995	0.38	4	└
					合計	4	kg
					D13 (SD345)	4	kg
					コンクリートアンカー M12	11	本

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）A2橋台 縁端拡幅工B 詳細図（その2）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

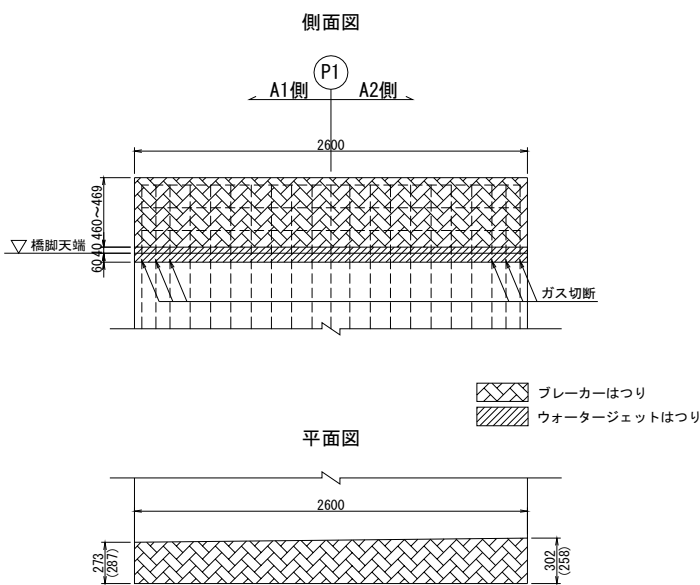
上り線A1橋台外側, 中分側
コンクリートはつり工



はつり数量表(箇所当たり)

項目	単位	橋脚部 (寄部)	摘要
コンクリート構造物取り壊し (TypeB)	m ²	0.064	ブレーカーはつり (有筋) 率計上項目
コンクリートはつり工	m ³	0.030	ウォータージェット

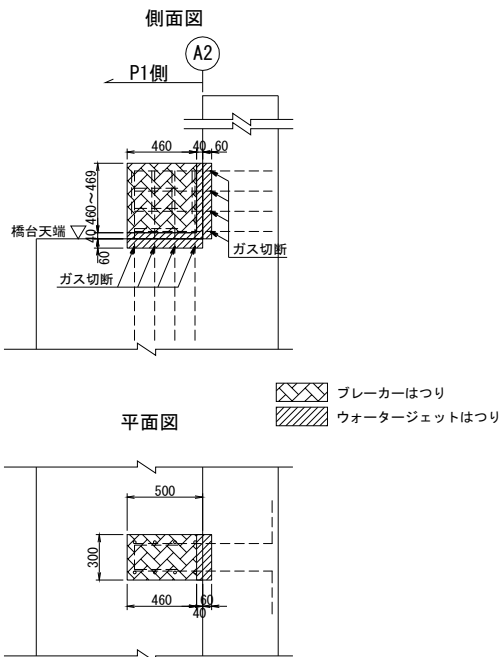
上り線P1橋脚外側(中分側)
コンクリートはつり工



はつり数量表

項目	単位	橋脚部 (寄部)	摘要
コンクリート構造物取り壊し (TypeB)	m ²	0.347 (0.329)	ブレーカーはつり (有筋) 率計上項目
コンクリートはつり工	m ³	0.075 (0.071)	ウォータージェット

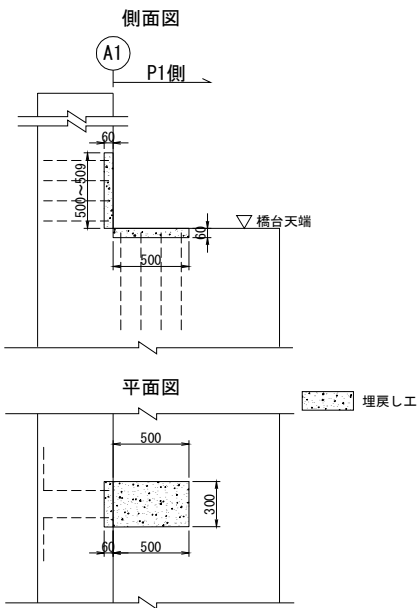
上り線A2橋台外側, 中分側
コンクリートはつり工



はつり数量表(箇所当たり)

項目	単位	橋脚部 (寄部)	摘要
コンクリート構造物取り壊し (TypeB)	m ²	0.064	ブレーカーはつり (有筋) 率計上項目
コンクリートはつり工	m ³	0.030	ウォータージェット

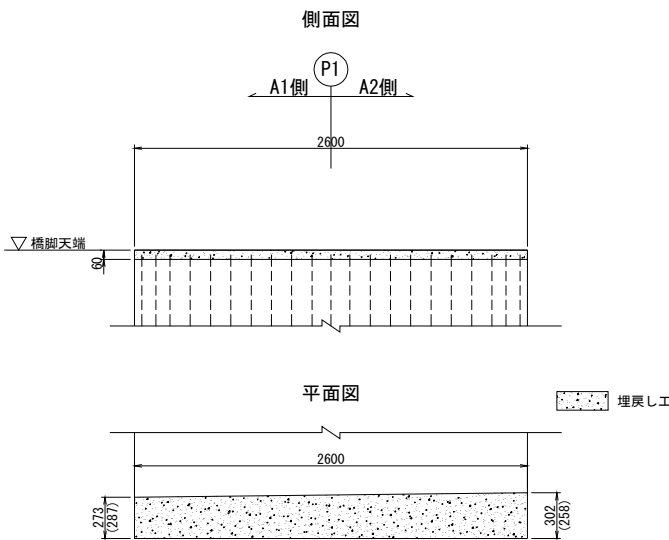
埋戻し工



埋戻し数量表(箇所当たり)

項目	単位	橋脚部 (寄部)	備考
埋戻し工	m ³	0.018	無収縮モルタル 率計上項目

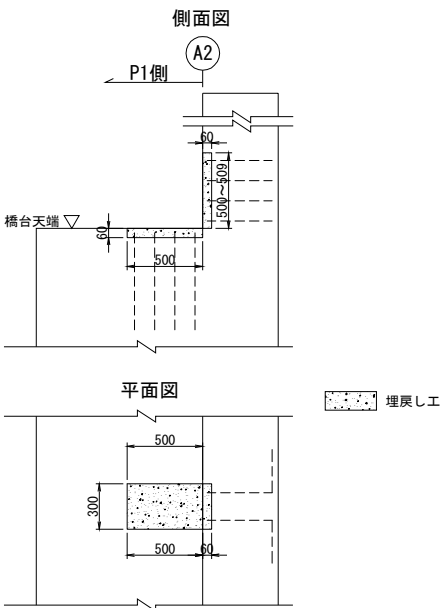
埋戻し工



埋戻し数量表

項目	単位	橋脚部 (寄部)	備考
埋戻し工	m ³	0.045 (0.043)	無収縮モルタル 率計上項目

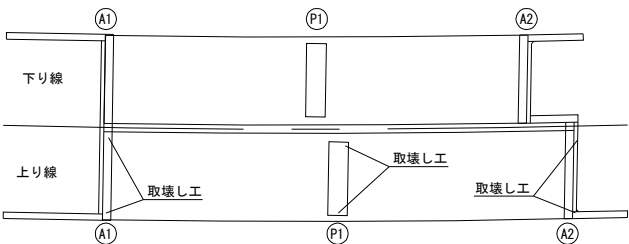
埋戻し工



埋戻し数量表(箇所当たり)

項目	単位	橋脚部 (寄部)	備考
埋戻し工	m ³	0.018	無収縮モルタル 率計上項目

位置図

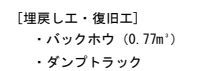
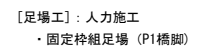
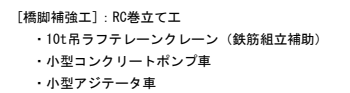
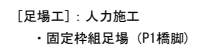
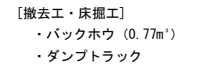


注記)

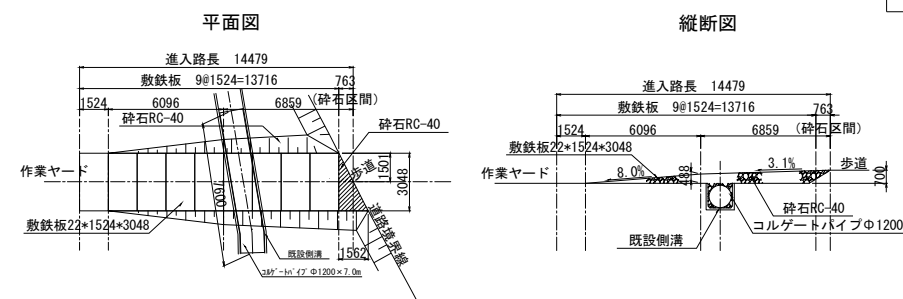
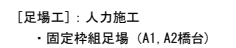
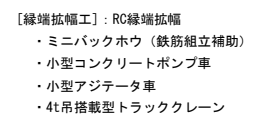
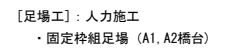
1. 施工に際しては現場計測を行い、実測結果を反映のこと。
2. はつりに伴い不要となる鉄筋以外は、切断しないよう留意のこと。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線） 構造物取壊し工 サイドストッパー 詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

主要重機



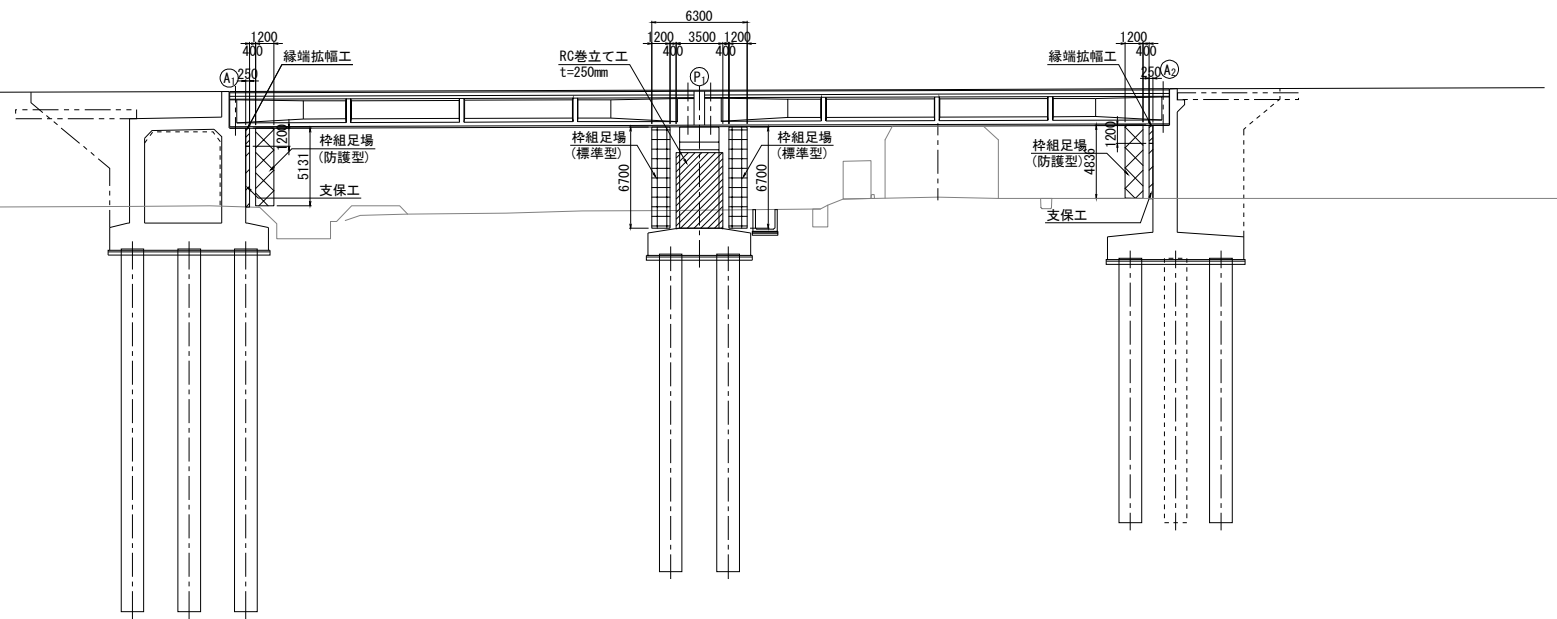
主要重機



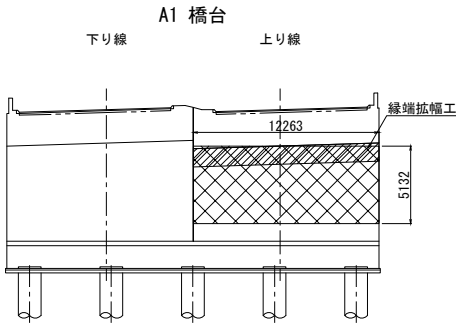
部 材 名	種 別	数 量	単 位
コルゲート管	φ1200	7.6	m
砕石	RC-40	20.578	m ³
軟弱板	1 524 × 3 048 × 22	9	枚

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類		町田第三橋（上り線） 施工要領図（参考図）	
縮	尺	図 示	図面番号 /
設計会社名		大成エンジニアリング株式会社	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 車 路 所	

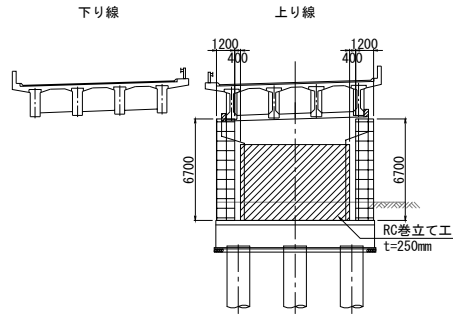
側面図 S=1:500



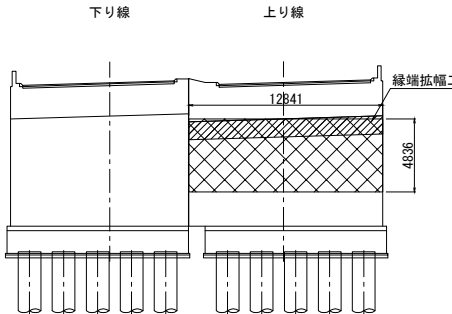
断面図 S=1:500



P1 橋脚

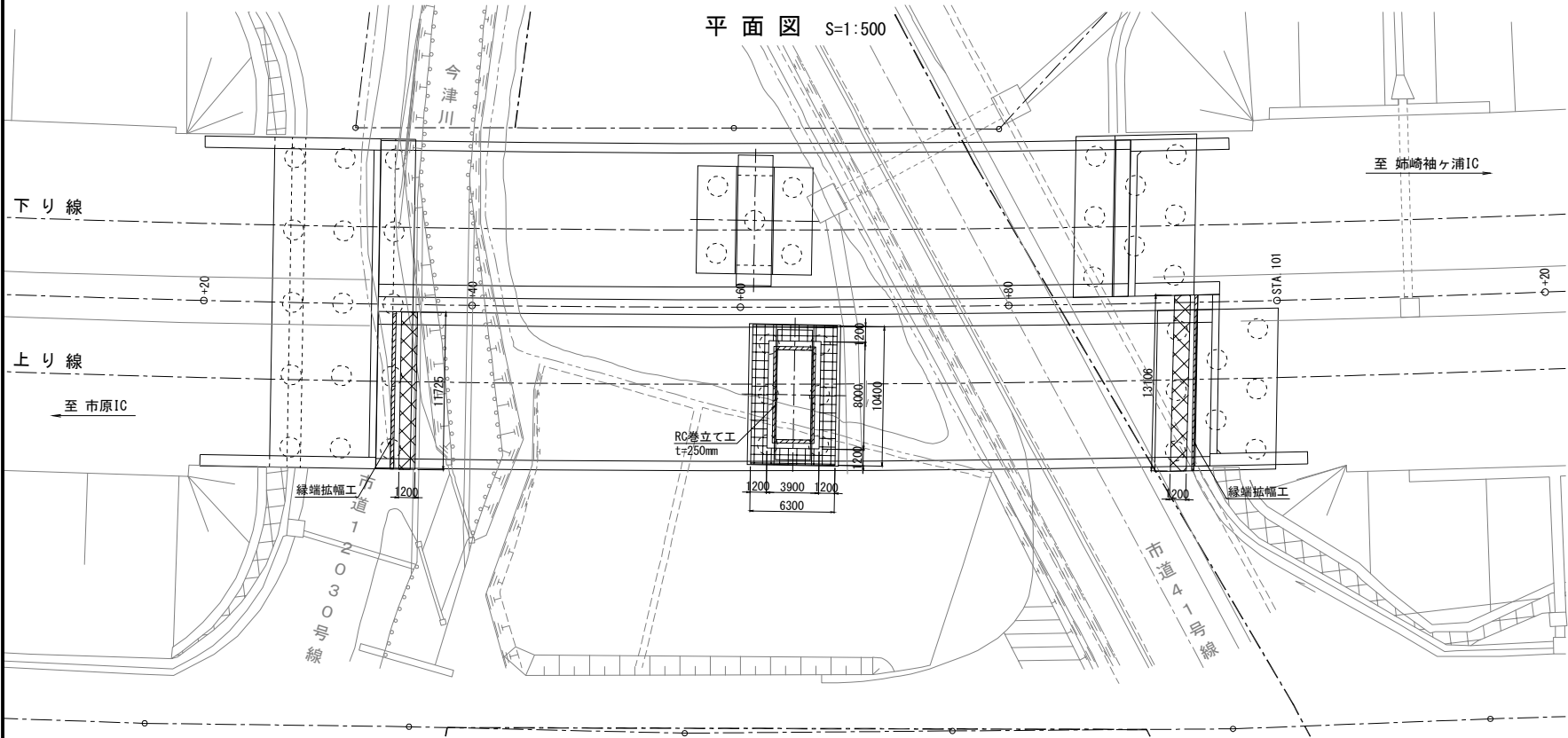


A2 橋台



- : 足場工 (枠組足場×標準型)
■ : 足場工 (枠組足場×防護型)

平面図 S=1:500



注記)
1. 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映すること。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）		
	足場工図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		